

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	001 海の街づくり事業の公園管理費				
担当部	040000 経済部	課・室	040501 商工水産課	所属長名	上原 斉		

(1) 基本情報

基本目標		006 働きのつながるまち(産業)	施 策	003 水産業の振興
事務事業期間		平成23年度 ～ 令和02年度	会計種別	01 一般会計
経費の性質		5 政策的経費	実施計画対象	1:対象
事業概要	実施方法	業務委託又は指定管理	実施根拠 (法令や条例等)	・糸満市公の施設における指定管理者の指定 の手續等に関する条例及び施行規則
	目 的	本県唯一の第三種漁港である糸満漁港の漁港区域内に位置する海のふるさと公園を維持管理することにより、他県から来る漁業者、地元漁業者及び付近住民に憩いの場を提供し、福祉の向上、健康増進及び展示施設による漁具、先人の漁法を展示案内し糸満漁業の文化継承に寄与する。		
	対 象	県内外等の利用者		
	活動内容	施設の維持管理運営、設備・備品・遊具等の管理保全、清掃・除草・樹木等の維持管理、防犯・防災、施設使用の指導、常設展示館の案内。		
	意図（成果）	街づくり施設の利用状況及び利用料の徴収状況を報告する。		

(2) コスト及び成果

		単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費		千円	4,536	5,214	4,580	4,580	0
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源		千円	4,536	5,214	4,580	4,580	0

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
利用状況等の報告	式	月毎の利用者の把握	公園展示館利用者数	人	利用者の実態を把握し利用促進を図る

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	利用状況等の報告	式	計画値	1	1	1	0	0
			実績値	1	1	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	公園展示館利用者数	人	計画値	3,000	3,000	3,000	0	0
			実績値	4,688	2,885	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥 当 性	①事務事業を実施する妥当性	● 目的は明確で上位の施策に結びついている ○ 目的は上位の施策に結びついていない ○ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 (第5次総合計画→水産業の振興→海やからのまちづくり) ・ふれあい公園を拠点として、漁業と海洋レクリエーションとの調和を図り、観光漁業の推進に寄与している。 ・漁業の歴史及び漁業文化資源の保全と継承に努めている公園施設でもある。
	②行政が関与する妥当性	○ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ○ 国、県、市の協調によるもの ● 民間ではできない、または民間では実施していない ○ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ○ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・糸満市により海のふるさと街づくり整備事業で施設整備を行った公園であり、糸満市で管理を行う。

必 要 性	③市民ニーズ	○ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ○ 市民ニーズが増加傾向にある ○ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ● 市民ニーズが減少傾向にある ○ 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・近年のネット環境の整備により対内的な活動が進み、主に若年層への市民ニーズが減少傾向と思われる。
	④現時点での優先性や緊急性	○ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ○ 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ○ 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ● 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ○ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・公の施設の設置目的を損なうことなく、適切な管理運営を行うことにより、公正な公共サービスを確保するため。 ・資料館においては、糸満海人の歴史・文化を保存・継承しており、糸満市において重要な施設である。

公 平 性	⑤受益者負担は適切か	● 広く市民を対象としていることから適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ○ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ○ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・市内外からの漁業関係者及び付近住民などの、漁業文化学習やふれあい交流などの、多目的公園として活用されている。
-------------	------------	--

効 率 性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	○ かなり縮減できている ○ ある程度縮減できている ● あまり縮減できない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・指定管理者制度は、公の施設の設置目的を損なうことなく、適切な管理を確保した上で、多様化する市民のニーズに効果的・効率的に対応し、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図っている。 ○ 縮減できない ○ 効率性の評価になじまない
-------------	-----------------------------	--

有 効 性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	○ 目標を上回る ○ 目標を概ね達成している ● 目標をやや下回る 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ・コロナ禍の影響により、外出自粛期間が続いており、公園利用者が減少傾向にある。 ○ 目標を下回る ○ 成果指標を設定していない
-------------	-----------------------	---

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 2. 必要性 ○ 適切 ● 見直す余地あり 3. 公平性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 4. 効率性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 5. 有効性 ○ 適切 ● 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 ・適切3～4でB評価 ・適切1～2でC評価 ・全て見直しでD評価 B	A 現状どおり事業を進めることが妥当 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり
所属長所見 □ 拡大・充実 □ 現状維持 ■ 改善 □ 民間委託 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 □ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要） コロナ禍により、来場者数の減少で資料館の入館料等の収益事業が低迷しているが、今後の施設運営のために、新たな収益方法を模索する必要がある。	